

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
小杉地区

平成23年2月

富山県射水市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	通りの歩行者数	人/日	100	120	180	確定 見込み ●	○	あり なし	88	H22年6月～9月	×	今夏の猛暑による気象の影響等が考えられる。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	総合的に見ると、下条川散策路が舗装化されたことによりウォーキング利用者の増加、車イスでの利用者等も見られるようになった。今夏の猛暑の影響等により、日中の外出を控えた傾向が影響したと考えられる。
指標2	観光客入込数	人/年	14,742	15,480	24,481	確定 見込み ●	○	あり なし	22,164	H22年5月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	各事業の実施や、施設のPR活動等により観光客入込数の増加が見られた。
指標3	地区内居住人口数	人	8,794	8,800	9,193	確定 見込み ●	○	あり なし	9,132	H22年4月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	道路・公園等の生活基盤整備や土地区画整理事業の実施などにより、定住人口の増加が見られた。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	千成商店街におけるイベント時の入込数	人/年	4,000	8,800	確定 見込み ●			9,000	H22年4月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	広場・周辺道路整備の実施や、学生コンサート等の開催により、入込数の増加が見られた。	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	周辺の道路整備やイベント開催	・整備箇所をより有効に機能させるため周辺道路整備を計画 ・イベントの継続開催	・二期計画により周辺道路整備に着手したところである。 ・イベントについては定着してきており、組織も今後の開催に向けて気運を高めている	・周辺道路整備について、事業の円滑な実施を図る ・今後もイベントの継続的な開催に向け、地元の気運の醸成を図ることが必要である
	イベント開催等による旧道周辺のPRと回遊ルートの整備	イベント(旧北陸道ア-1in小杉等)でのPR活動の実施	・イベントについては定着してきており、学生がボランティアで運営に参加し地域住民と交流を深め、地区の歴史文化などの魅力を発信した	今後もイベントの継続的な開催に向け、地元の気運の醸成を図ることが必要である
	生活基盤整備がされた地区の人口の増加	H18より、定住促進を図るため、新たな土地取得の助成制度を実施	・助成制度の利用等もあり、定住の促進が図られた	更地となっている区画も残存しているため、更なる定住の促進を図る必要がある
	学生などを取り込んだイベント開催による賑わいの再生	イベント時における学生コンサートや、イベント運営ボランティアとしての参加	・学生コンサートは定着してきている	活動へ参加している若者が一部のため、今以上の若者を取り込むことが必要である
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	イベント開催時以外の普段からの賑わいの再生	地域住民との意見交換の実施	・地域の意向を把握することが出来た	・都市の利便性や魅力の向上を図る ・人が集える場所の整備を進める
	歴史的建造物の魅力の回復	竹内源造の作品が残る貴重な施設本来の魅力を発揮させるため、施設の歴史的景観を復元、保存するなど地域資源の活用を図っていく	・二期計画により既存建造物の改修に着手するところである	建物改修後は継続的なPR活動等により魅力を発信し続けていく必要がある
	既存住宅地域における定住人口の確保	・H20よりHPで本市に定住や半定住を希望される方々が居住物件を検索できるよう空き家情報バンクを開設した	・本地区内での利用はまだないが、掲載物件に対し市内外からの問い合わせがあり情報発信に一定の効果があった	・空き家等情報提供機能の充実を図る ・空き家調査手法の検討を進める ・高齢者や子育て世代等が生活しやすい住環境づくりに努める

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(精算報告)

こすぎ  
小杉地区

とやま いみずし  
富山県 射水市

平成23年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	いみずし 射水市	地区名	こすぎ 小杉地区	面積	228 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標	
大目標:人口定着・交流機能強化により市民の交流拠点の形成、賑わいの再生	
目標1	市民の生活拠点としての役割を高め中心市街地としての賑わいを創出する。
目標2	既存資源を活かし、市の魅力を高め市民や来街者が集い交流するまちとして再生させる。
目標3	生活環境の向上を進めながら定住人口の増加を図る。

目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は旧小杉町のほぼ中央に位置しJR北陸本線小杉駅を含む中心市街地をなす地区である。</li> <li>・県が開発した団地(居住人口1.2万人)と商業施設、富山県立大学や研究施設・環境科学施設など文教施設、広域公園県民公園太閤山ランドを周辺に備えた地域でありながら地区内の各都市集積施設の伸び悩みが著しく中心市街地の活力の低下が乏しいのが現状である。</li> <li>・地区内には旧北陸街道があり周辺には歴史ある家並みが見られかつての宿場町としての名残を残す旧市街地となっている。しかしながら旧北陸街道周辺の歴史建造物・文化資源の知名度が低く市民ですら知られていないほどの状況にある。</li> <li>・地区内にある道路、公園等が老朽化するとともに市民も高齢化しており、現状のままでは高齢者が利用しにくい状況であり少なからず生活及び商業環境への悪影響を促しているひとつと懸念される。</li> <li>・当地区は中心市街地活性化基本計画の区域に存し同計画において地区特性を活かした空間形成、地域住民の支援、バリアフリー、区域内居住の推進及び、こらの基盤となる公園等の改善による活性化の方向性が示されている。</li> <li>・本地区はTMOを中心として、平成14年度から市民参加と官民協働まちづくりに関する取り組みが継続しており、市民からなるボランティア団体による各種イベント(まちなみアート:平成14、15、16年度実施、散策路ごみ清掃:年二回実施)への市民参加が進められ街づくりの気運が盛り上がっているところである。</li> <li>・都市再生整備計画を策定するにあたり、特に住民には意見集約は行っていないが、平成13年度に住民公募より中心市街地活性化検討委員会をつくり策定した中心市街地活性化基本計画や住民公募より総合計画審議会をつくり旧小杉町総合基本計画を策定した時の意見を集約したものである。</li> </ul>	
課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内に立地する施設・資源との連携を見据え、地区南北にわたる地区特性を有効に連携させ、定住人口のより一層の確保と交流人口の街なかへの誘導を図ることが課題である。</li> <li>・年間70万人が訪れる広域公園の県民公園太閤山ランドへの来場者等を中心市街地にひきつけるため魅力ある施設整備を進め、来街者等を街なかに誘導する仕掛け造りを行い地域振興の核を育てることが課題である。</li> <li>・地区北部の旧道周辺において固有の歴史・文化資源の知名度が低いため、PRをするとともにそれらを活用した回遊ルートを整備し、交流ゾーンを形成することが課題である。</li> <li>・老朽化している公園・広場等を住民の生活を支える施設として充実させ、商業環境の魅力化やバリアフリー等による生活環境の向上をはかり定住人口の確保することが課題である。</li> <li>・地区内の高齢化に歯止めをかけるためにも若い世代が集うようなイベント、仕掛けづくりを行うことが課題である。</li> </ul>	
将来ビジョン(中長期)	
<p>地域資源を活かし、多様な生活関連機能を充実させ、コンパクトで人にやさしいまちづくりを行い市民と行政との協働のもと活気と賑わいにあふれるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小杉町総合計画の中では中心市街地活性化基本計画がまちの創造性あふれる生活拠点、新たな交流の場としての地域活性化推進プランの施策として計画されておりこの計画はほぼ中心市街地活性化基本計画に基づいたものである。</li> <li>・旧小杉町都市計画マスタープランでは小杉駅周辺や太閤山住宅団地内のショッピングセンターなどは商業拠点として充実させることや、整備水準の高い住宅団地の形成が方針とされている。</li> </ul>	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 通りの歩行者数	人/日	下条川散策路の通行人数	施設整備や仕掛けづくりを行うことで近隣の住民だけでなく他からの利用も考えられることから、施設整備を行った道路、歩行支援施設の通行人数の増加を目指す。	100	平成16年度	120	平成21年度
2. 観光客入込数	人/年	地区内の資源・観光施設・イベントの集客数	生活拠点の場が整備されることにより、市民や市民を問わず来街者が交流していると考えられる資源、施設、現在行われているイベントに来場する人数を指標とし、PR度、地区内の魅力を確認する。	14,742	平成16年度	15,480	平成21年度
3. 地区内居住人口数	人	地区内の居住人口数	生活環境の向上により、地区内に居住する人口増加により計画地区内の施設、基盤整備、居心地のよさを確認する。	8,794	平成16年度	8,800	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(市民の生活拠点の形成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生活拠点や賑わいの核を形成するために共同店舗と一体となった街なか広場の整備を行う。</li> <li>商店街への来街者の増進、機能拡充のため広場整備、アーケードの設置により、市民の憩いの場、交流の場を形成する。</li> <li>歩行者の快適性の向上を図るため下条川提体を利用した散策路をバリアフリー化し新市街地と旧市街地を連携させ新市街地と旧市街地の交流を促す。</li> <li>ソフト面では下条川散策路に歩きたくなるような仕掛けづくりをし、市民を募り歩こう会を実施する。その時に聞き取り調査を行いながら、案内板の設置や遊歩道の整備、ウォーキングマップの作成を行う。</li> </ul>	<p>地域生活基盤施設(基幹事業/広場整備)、共同店舗整備事業(関連事業/リノベーション事業、組合)、道路(基幹事業/散策路、周辺道路整備等)、地域生活基盤施設(基幹事業/案内板設置)、商店街にぎわいづくり事業(関連事業、商工会)、歩こう会の実施・ウォーキングマップ作成(提案事業/まちづくり活動推進)、下条川賑わい創出事業(提案事業/まちづくり活動推進)、遊歩道整備事業(関連事業、市)</p>
<p><b>整備方針2(交流ゾーンの充実)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅南にある射水市サービスセンターをバリアフリー化し市の情報発信の場として観光拠点施設として充実を図り市民によるイベント案内等を行う。</li> <li>下条川祭り、下条川河川公園で行われるイルミネーション事業等のイベントを小杉商工会が中心に来街者をひきつける新たな方策を企画する。</li> <li>駅北口の市街地再開発予定地には商工会を中心に事業が始まるまで遊休地を利用しふれあい市場を開催し、地元の特産物や野菜など販売し地区の交流を深める。</li> <li>広く地区内の文化資源を知ってもらうために鰻絵教室を開催し、市内外を問わず交流の場、情報交換の場を作る。</li> </ul>	<p>射水市サービスセンター増築(提案事業/地域創造支援)、駅舎内エレベーター設置(関連事業、鉄道事業者)、地域生活基盤施設(基幹事業/案内板設置)、鰻絵教室の実施(関連事業、市)、商店街にぎわいづくり事業(関連事業、商工会)、下条川祭り(関連事業、商工会)、イルミネーション事業(関連事業、商工会)、ふれあい市場(関連事業、市)、公園整備(基幹事業/その他公園)</p>
<p><b>整備方針3(人口定着化を図る)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区域内の老朽化している広場整備、道路の整備し、有機的に既存の資源を連携させ住みたくなるような魅力あるまちづくりを創出することにより、区域内の人口定着化を促進する。</li> <li>区域内の交通結節点である駅を中心にコミュニティバスを市内全域に走らせることにより区域内の利便性と生活環境の向上を図り区域内の人口定着化を図る。</li> </ul>	<p>土地区画整理事業(関連事業、組合)、公園整備(基幹事業/その他公園)、道路(基幹事業/散策路、周辺道路整備等)、小杉駅北口市街地再開発事業(関連事業、組合)、コミュニティバス(関連事業、市)、高質空間形成施設(基幹事業/横断歩道橋)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業終了後の継続的なまちづくり活動                      当地域では商業者を中心にTMO構想が平成14年度に策定された。その後商工会を中心としたTMOが発足された。その構想の中ではハード事業やソフト事業が記載されている。ハード面では一番早く着手予定にあるものは、本計画に位置づけられている地域生活基盤で行う広場整備に関連し共同店舗事業としてアーケードの整備をする予定である。その後商店街の駐車場のリニューアルやファサード統一事業など商店街の特徴を造り活性化をはかる予定である。ソフト面ではこの計画に合わせ商店街の活性化を取り戻すため商店街にぎわいづくり事業などイベントを通じ人を呼び込む仕掛け造りを行う予定である。その他観光ボランティアや空き店舗活用など予定している。この計画の進捗状況によりTMO活動も活発すると考えられる。                       平成14年度には旧北陸街道沿いの商店街のボランティアによるまちなみアートを年1回行っている。また商店街の住民が中心となり、その区域の人だけでなく広く市民を募集し清掃ボランティアが年2回行われるようになった。旧小杉町が中心市街地活性化基本計画策定委員を町民から公募し町民のニーズが高いものや町民の願いを直接聞き中心市街地活性化基本計画に記載した。それをこの計画で整備することにより市民のより気運が高まっているものとする。さらに市としても施設整備を行うことにより各種団体、まちづくり活動の組織となる特定非営利活動法人(NPO法人)にも働きかけ、様々なイベントを行ってもらうよう努力する。</li> <li>○ 交付期間中の計画管理について                      交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果を挙げる為、市とTMOで事業成果について評価を周辺地区の住民に聞き取り調査を行い事業に対する満足度を確認する。その結果については、随時市民に情報公開する。</li> </ul>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	751	交付限度額	300.4	国費率	40%
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路	地方道	市道三ヶ79号線	射水市	直	43m	H18	H20	H18	H20	126.2	126.2	126.2		126.2
道路	地方道	市道戸破101号線	射水市	直	241m	H18	H19	H18	H19	35.8	35.8	35.8		35.8
道路	地方道	市道戸破109号線	射水市	直	84m	H18	H18	H18	H18	7.8	7.8	7.8		7.8
道路	地方道	市道戸破162号線	射水市	直	434m	H18	H20	H18	H20	19.6	19.6	19.6		19.6
道路	地方道	市道戸破1023号線	射水市	直	584m	H18	H20	H18	H20	32.7	32.7	32.7		32.7
道路	地方道	市道三ヶ1105号線	射水市	直	1,048m	H17	H21	H17	H21	81.3	81.3	81.3		81.3
道路	地方道	市道三ヶ1106号線	射水市	直	767m	H17	H21	H17	H21	44.6	44.6	44.6		44.6
道路	地方道	市道太閤山702号線	射水市	直	156m	H19	H21	H19	H21	19.0	19.0	19.0		19.0
道路	地方道	市道太閤山705号線	射水市	直	149m	H19	H21	H19	H21	18.0	18.0	18.0		18.0
道路	地方道	市道太閤山710号線	射水市	直	96m	H19	H20	H19	H20	14.5	14.5	14.5		14.5
道路	地方道	市道太閤山741号線	射水市	直	103m	H19	H20	H19	H20	15.1	15.1	15.1		15.1
道路	地方道	市道三ヶ55号線	射水市	直	66m	H20	H21	H20	H21	8.5	8.5	8.5		8.5
公園		兜山公園	射水市	直	0.58ha	H16	H17	H17	H17	98.0	53.0	53.0		53.0
公園		藤井右門公園	射水市	直	0.18ha	H20	H20	H20	H20	36.2	36.2	36.2		36.2
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	射水市	直	—	H17	H21	H17	H21	51.6	51.6	51.6		51.6
高質空間形成施設		—	射水市	直	—	H17	H17	H17	H17	106.9	106.9	106.9		106.9
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										715.8	670.8	670.8	0.0	670.8
提案事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	射水市サービスセンター増築	小杉駅南	射水市	直	RC2階建42㎡	H17	H17	H17	H17	61.4	61.4	61.4		61.4
事業活用調査	事業効果分析等	—	射水市	直	—	H21	H21	H21	H21	3.8	3.8	3.8		3.8
	まちづくり活動推進事業	歩こう会の実施・ウォーキングマップ作成	射水市	直	—	H17	H21	H17	H21	2.0	2.0	2.0		2.0
	下条川賑わい創出事業	—	射水市	直	—	H17	H21	H17	H21	13.7	13.0	13.0		13.0
合計										80.9	80.2	80.2	0.0	80.2
													合計(A+B)	751.0

